

MR ワクチンで麻しん・ 風しんの感染予防を!

平成 29 年 4 月 5 日 富山県感染症情報センター (直 0766-56-5431)

(直 0766-56-8142)

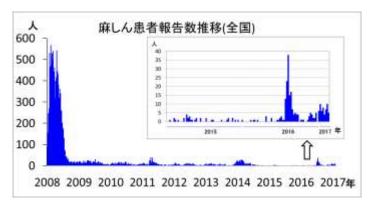
感染症発生動向速報

(平成 29 年第 13 週分・3 月 27 日~4 月 2 日)

《 インフォメーション 》

●麻しん(はしか)

麻しんはおもに空気を介して感染する感染力の非常に強いウイルス感染症です。国の集計(IDWR)によると、麻しんの報告数は2017年第1~12週(3月29日現在)で65件となりました。2015年3月、日本は麻しんが「排除状態」であると世界保健機関(WHO)西太平洋事務局から認定を受け、現在もその状態を維持しています。しかし、海外の多くの国では麻しんが流行しており、海外からの麻しんの輸入症例が報告されています。輸入症例を発端とした感染の拡大は昨年の関西国際空港での事例など、しばしば発生しています。



麻しん患者報告数推移(富山県)									
2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
8	2	0	0	1	0	0	0	1	0

(3月29日現在)

麻しんウイルスに感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。口腔内にコプリック斑という特徴的な白い斑点が現れる場合があります。2~3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんは感染力が非常に強く、肺炎や脳炎などの合併症を起こし死亡する場合もある疾患ですが、予防接種をすることで高い予防効果を得ることができます。麻しん・風しん(MR)ワクチンは「定期接種」として予防接種法で定められています。平成 29 年度は下記の人が対象です。お子さんが対象者であるかどうか、今一度ご確認ください。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。

平成 29 年度の麻疹風疹(MR)ワクチンの定期接種対象者

第1期:1歳児

第2期:小学校入学前1年間の小児(H23.4.2~H24.4.1生)

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2件(①40歳代、男性 ②70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(10歳代、男性、O26(VT1))

五類感染症 ジアルジア症 1件 (20歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (90歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患 定点あたりの数 今调 順位 疾病名 先週 増減 インフルエンザ 1位 4.75 5.73 2位 感染性胃腸炎 4.24 4.59 3位 流行性角結膜炎 2.29 2.43 4位 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 2.07 5位 流行性耳下腺炎 1.55 1.41 感染性胃腸炎(ロタウイルス) 0.80 0.80 6位.

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/

○感染症発生動向調査報告状況(平成29年第13週 平成29年3月27日~平成29年4月2日)

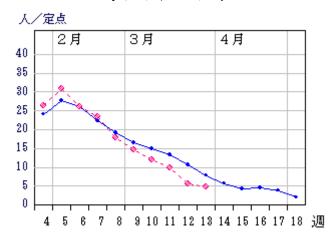
分類	疾患	*****	今週報告分(第13週)					*****			设告数 		
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
	結核				1	1	2	7	2	9	8	18	44
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1		1				1		1
	A型肝炎							1					1
四類感染症	デング熱											1	1
	レジオネラ症									4		2	6
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感	染症									4		4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		2	4
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	ジアルジア症	1					1	2					2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	2		1		5	8
	梅毒									1		1	2
	インフルエンザ	31	21	30	44	102	228	1, 780	1, 254	2, 276	1, 431	3, 174	9, 915
		4. 43	4. 20	2. 31	6. 29	6. 38	4. 75 6	16	20	19	7	228	290
	RSウイルス感染症					0.60	0. 21	10	20	19	I	220	290
					3	5	8	6	8	59	30	55	158
	四與和煤款				0. 75	0.50	0. 28						
定点疾病	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0. 33	22 2. 75	10 2. 50	16 1. 60	53 1. 83	50	16	256	120	191	633
足术大利	感染性胃腸炎	35	19	2. 73	16	45	123	557	317	354	300	944	2, 472
下段は定点当た		8. 75	6. 33	1. 00	4. 00	4. 50	4. 24						·
「の患者数を示す) す)	水痘		1	9	2	2	14	2	10	28	14	47	101
,,			0. 33	1. 13	0. 50	0. 20	0. 48 2			51	5	2	58
	手足口病			0. 13		0. 10	0. 07			01	J		30
	伝染性紅斑										1	5	6
		1	0	0	0	2	11	1.5	0	25	10	0.1	100
	突発性発しん	0. 25	0. 67	0. 38	0.50	0.30	0. 38	15	8	35	19	31	108
	 百 日 咳	0. 20	0. 07	0.00	0.00	0.00	0.00			2			2
	日 口 咳												
	ヘルパンギーナ							2		4	4		10
		7		20	3	15	45	62	24	235	58	179	558
	流行性耳下腺炎	1. 75		2. 50	0. 75	1.50	1. 55	02	2.	200		170	000
	急性出血性結膜炎									2	1		3
	流行性角結膜炎			16			16		1	115	1		117
				8. 00			2. 29		ı	110	ı		117
	細菌性髄膜炎			5. 00				1					1
	無菌性髄膜炎	1.00					0. 20	1					1
		1.00		1		1_	0. 20	9	2	5	7	7	30
	マイコプラズマ肺炎	1. 00		1.00		1.00	0. 60						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1		2	1		4	6		3	9	3	21
		1.00		2. 00	1.00		0.80					1	1

一週間の注目すべき感染症をグラフで表示します

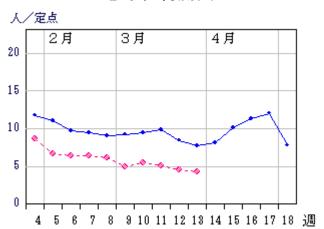
平成29年 第13週 3月27日(月)~4月2日(日) 4月5日更新

平年 ◆——◆ 現在 **⋄----**◆ ※ 平年とは、 過去10年間の平均値を 表しています。

インフルエンザ



感染性胃腸炎



流行性角結膜炎



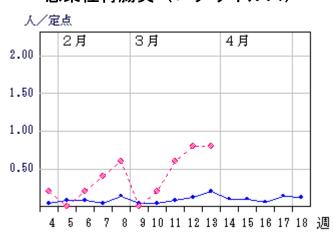
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)



インフルエンザ定点における患者診断状況

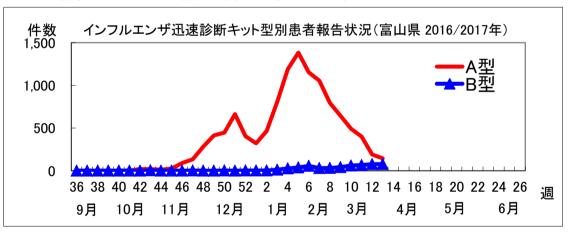
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ 迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型 が63.6%となっています。

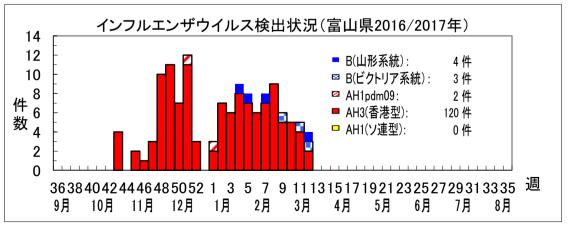
第13週(3/27~4/2):富山県 4.75人/定点 (単位:件)

<u>和10世)</u>	3/2/°4/2/ .	田山木 7./		(半世: 什)			
厚生セン 報告数/定点数		迅速診	断キット	その他 ^{※2}	合計		
保健所名		A型	B型	C 07 E			
新川	6 /7	22	8	1	31		
中部	3 /5	14	3	4	21		
高岡	9 /13	22	8		30		
砺波	6 /7	38	6		44		
富山市	14 /16	49	53		102		
富山県	38 /48 **1	145	78	5	228		
富山県累計(2016年36週~)		11,558	541	431	12,530		

^{※1} 報告定点数の例(38/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が38か所あったことを示します。

^{※2 「}その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





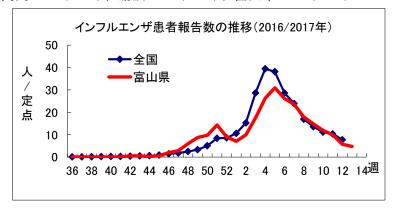


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 13 週 (3/27~4/2): 富山県 4.75 人/定点

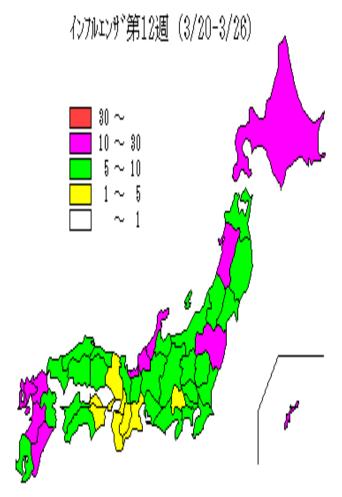
新川 HC (4.43)、中部 HC (4.20)、高岡 HC (2.31)、砺波 HC (6.29)、富山市 HC (6.38)

県内のインフルエンザの流 行は縮小傾向にありますが、依 然低いレベルで継続していま す。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 12 週 (3/20~3/26)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 7.71 人となり、前週の定点あたり 10.33 人より減少しました。全 47 都道府県で前週より報告数が減少しています。



都道府県	人/定点
北海道	10.05
青森県	8.32
岩手県	9.45
宮城県	7.53
秋田県	11.37
山形県	8.48
福島県	17.73
茨城県	8.35
栃木県	8.68
群馬県	6.76
埼玉県	8.94
千葉県	7.38
東京都	7.28
神奈川県	6.82
新潟県	9.73
富山県	5.73
石川県	11.04
福井県	11.69
山梨県	3.98
長野県	7.52
岐阜県	6.86
静岡県	6.29
愛知県	6.85
三重県	4.65

都道府県	人/定点
滋賀県	6.04
京都府	5.25
大阪府	2.94
兵庫県	4.57
奈良県	3.37
和歌山県	2.74
鳥取県	9.10
島根県	7.92
岡山県	5.49
広島県	5.03
山口県	5.34
徳島県	4.43
香川県	3.45
愛媛県	7.33
高知県	8.13
福岡県	12.05
佐賀県	14.51
長崎県	15.13
熊本県	10.31
大分県	8.16
宮崎県	16.69
鹿児島県	7.03
沖縄県	17.17
全国	7.71